

POWER RESERVE

仕事や学業を続けながら
社会に貢献

リアル
企業戦士



小笠原 菜

藤川 光平

働きながら、 守ります。

2020年度版

予備自衛官等教養資料



予備自衛官標旗



即応予備自衛官
シンボルマーク



予備自衛官補標旗

予備自衛官等制度ウェブサイト



スマートフォンで
いますぐアクセス



予備自衛官

即応予備自衛官

予備自衛官補



第51号

2020年(令和2年)4月1日刊行

発行:防衛省陸上幕僚監部人事教育部人事教育計画課予備自衛官室

はじめに

「パワーリザーブ」は、予備自衛官等教養資料として昭和45年に創刊され、「予備自衛官のしおり」の時代を加え、今年度で51号となります。本誌が全国の予備自衛官等の皆様の団結、退職予定隊員の予備自衛官等志願への一助になれるよう、また、ご家族や雇用企業主の皆様の制度理解への一助になれるよう、共感できる体験談や関心を持てる記事を掲載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

〈特集〉

災害派遣……………4

〈トピックス〉

予備自衛官等制度の概要……………12

〈施策の広場〉

予備自衛官中央訓練……………14

方面隊実動演習（鎮西・YS）……………20

防衛大臣感謝状贈呈式……………21

優秀隊員招待行事……………23

〈招集（教育）訓練の広場〉

予備自衛官招集訓練……………26

即応予備自衛官招集訓練……………27

予備自衛官補招集教育訓練……………30

〈仲間の広場〉

地方協力本部担当者から……………32

常備自衛官の仲間から……………33

予備自衛官の仲間から……………34

即応予備自衛官の仲間から……………35

予備自衛官補の仲間から……………36

雇用企業の皆様から……………37

ご家族の皆様から……………39

〈知識の広場〉

「招集され自衛官となった場合の防衛省共済組合への加入について」……………41

予備自衛官等福祉支援制度のご案内……………42

予備自衛官等制度広報のご紹介……………43

読者プレゼント……………44



普段は会社員などとして勤務しながら、いざという時には、自衛官となって活躍する予備自衛官・即応予備自衛官は、近年、各地で相次ぐ大規模災害等での被災者に寄り添う様々な活動が注目を集め、民間と自衛隊をつなぐ架け橋として、大いに期待される存在となっています。



派



遣



特集

笑顔と故郷を取り戻すために！
今回は令和元年10月に発生した台風19号の暴風雨による災害での予備自衛官・即応予備自衛官の災害派遣活動をご紹介します。

災

害



令和元年台風第19号の暴風雨による災害における活動実績

令和元年 10月 14日	予備自衛官等の招集・受入に係る自行災命発出
10月 15日～	即応予備自衛官が逐次出頭し、相馬市、丸森町、佐野市、長野市等にて活動開始
10月 21日～	予備自衛官が逐次出頭し、総監部幕僚活動、巡回診療業務等を開始
11月 8日	予備自衛官等の招集が解除(災害等招集の終了)

区 分		活動実員 (延べ数)	主要活動内容	
陸上自衛隊	即応予備自衛官	368 (2,395)	即応予備自衛官	土砂、災害廃棄物の撤去、入浴支援
	予備自衛官	53 (262)		
	合 計	421 (2,657)	予備自衛官	東北補給処副処長補佐、東部方面総監部情報部長補佐、J T F 報道官業務支援、J T F 法務官業務支援、J T F 医務官業務支援、J T F 司令部付隊業務支援等



松本駐屯地での派遣準備
48 普連 (相馬原)



いわき市での入浴支援
38 普連 (多賀城)

令和元年台風第19号の暴風雨による災害における活動実績

災害派遣活動に従事して



東北方面後方支援隊
第三〇一弾薬中隊
即応予備陸士長
太田 哲哉

私は、現役の自衛官の時に災害派遣の経験がなく、今回の台風第十九号に伴う災害派遣活動が始めての参加でした。今回の活動で、即応予備自衛官として充実感ややりがいを感じることができました。

私は、令和元年十月十六日から二十八日まで、福島県郡山市での物資輸送支援や宮城県丸森町での物資管理支援等の活動に従事しました。この物資輸送支援活動と物資管理支援活動の「受け入れ」「払い出し」は、私が所属する弾薬中隊の弾薬の「受領・交付」に類似した作業であり、直接台風災害

の被災者と向き合うことはありませんでした。災害派遣活動に従事することで、私は後方支援隊はもとより弾薬中隊の一員として活動することができ、大変うれしく思いました。今回の災害派遣活動で、私達即応予備自衛官を支えて頂いた弾薬中隊の皆様には大変感謝致します。ありがとうございました。

即応予備自衛官災害等招集を 通して



自衛隊福島地方協力本部
2等陸尉
早坂 忠継

令和元年十月十二日に、関東及び東北地方を襲った台風第十九号は、福島県の各地に河川氾濫等の甚大な被害をもたらしました。福島県本では、十四日に即応予備自衛官の災害等招集命令を実施する行動命令を受け、速やかに予備自衛官室の同僚と即応予備自衛官への応招確認の電話や、災害等招集命令書を交付するために即応予備自衛

官の自宅や福島・郡山両駐屯地に奔走しました。

福島地本管内からは四十四名の即応予備自衛官が派遣されました。派遣された即応予備自衛官は、突然の招集命令にも関わらず、事前に雇用企業との調整や家族の了承を得ている方が多く、「いつでも出頭出来ます。」と話してくれ、即応する意識の高さに敬服と感謝を受けました。中には、「生まれ育った福島県のために、精一杯頑張ります。」と話され、全招集期間出頭に応じた方もおり、頼もしさを感じるとともに、快く送り出して頂いた雇用企業の皆様にも感謝の念が堪えません。

今後も異常気象等により、即応予備自衛官等が招集される事態も多くなると懸念されます。日頃から即応予備自衛官等の雇用企業主の皆様、予備自衛官等制度に対するご理解とご協力を頂けるように、また、来る事態に對し即応出来るように物心両面の準備を整えてまいります。

災害派遣活動に従事して



第38普通科連隊
第2中隊
即応予備3等陸曹

遠藤 公夫

台風十九号の災害による被災地域への災害派遣活動に第一次派遣隊として従事しました。

災害等招集にあたり出頭調整が二転三転しましたが、雇用企業・部隊・地本の協力により、無事出頭することが出来ました。

私が従事した活動は、避難所への支援物資輸送でした。最初は作業の流れがつかめずスムーズな作業ができませんでしたが、時間が経つにつれて、常備自衛官と即応予備自衛官が連携しスムーズな作業が出来ました。特に、被災地域への移動は土地勘のある即応予備自衛官が案内したり、作業時は常備自衛官の的確な指示と、運送業に就職している即応予備自衛官が中心となり、スムーズに作業をすることが出来ました。

今回の活動中、報道関係者からの取材や内

閣総理大臣から激励を受けて、改めて即応予備自衛官の活動が注目されていることを実感しました。

被災地のために



自衛隊山形地方協力本部
予備准陸尉

斉藤 正道

令和元年十月台風第十九号がもたらした災害に伴い、山形地方協力本部から災害派遣の出頭調整を受けました。ニュース等で被災地の現状を目にするたびに、常に力になればとの想いを持っておりましたので、すぐに承諾をしました。

しかし、その時はまだ勤務先や家族には災害派遣に関して、話しをしていませんでした。翌日、その旨を話したところ即答で「行って来てもよい」と言ってもらい、何の気兼ねもなく災害派遣活動に従事することが出来ました。

私の従事した内容は、油圧ショベルオペ

レーターとして、宮城県丸森町内で、高校の敷地内の土砂の除去作業であり、現役自衛官時代の経験を活かすことが出来ました。派遣期間中は第二施設団の方々のサポートがあり、無事に任務を遂行することが出来たと思います。

今後も災害招集等を受けた際は、勤務先の理解と家族の協力を得て、何かあればすぐに動けるように努力していきたいと思っています。

災害派遣に参加して



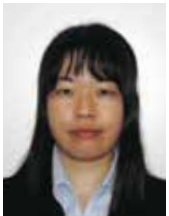
自衛隊千葉地方協力本部
予備2等陸佐

古村 雅利

令和元年10月、台風19号が関東信越、東北に大きな被害をもたらしました。災害派遣について地本から連絡があったのは、予備自衛官訓練から帰宅した翌日でした。経営するクリニックを臨時休診したばかりで断ろうと思ったのですが、妻と娘から「こ

れで出頭しないなら何のために予備自衛官になったのか。」と思いがけず叱咤されました。慌てて仕事の調整を出頭することが出来ました。6日間、東部方面衛生隊派遣救助班の医官として被災地で活動しました。24時間体制で従事する隊員、被災者に寄り添う隊員、特に若い隊員の姿に感動しました。そんな隊員たちを支援する任務はやりがいのある、得難い経験になりました。災害派遣を送り出す原隊の厚い支援も知ることが出来ました。家族からの叱咤も意外でしたがうれしい驚きでした。今後は更に積極的かつ真摯な気持ちで予備自衛官訓練、特に職務訓練に臨み、能力向上を目指します。

災害招集を経験して



自衛隊神奈川地方協力本部
防衛事務官

豊島 香織

私は、平成30年4月から予備自衛官業務に

携わっており、令和元年10月に台風19号が発生した時は、予備自衛官災害招集業務を担当しました。

まずは安否確認から始めたのですが、休日の夜遅い時間帯に連絡したにも拘わらず、多くの方がすぐに自身の状況を返信してくれました。また、この段階で自発的に『この期間なら招集に応じられる』『招集があれば自分に声をかけてくれ』といった反応があり、予備自衛官の方々の責任感の強さを感じました。その後、要望に合致した技能を有する予備自衛官に出頭調整すると『同僚と調整する』『会社が賛同してくれた』と回答がありました。出頭日まで日数が無い中での、雇用企業の皆様の対応に、予備自衛官等制度へご理解・ご協力頂けている事を肌で感じた瞬間でした。

予備自衛官班の一員として、引き続き予備自衛官が出頭しやすい環境作りを第一に職務に邁進したいと思っています。

台風19号における災害等招集に応じた即応予備自衛官の体験記



第48普通科連隊第2中隊
即応予備1等陸曹

藤井 勝則

私は長野県に在住し、普段はミキサー車や重機を運転する仕事に就いています。

今回の災害派遣には、10月16日から21日までの間参加しました。招集を受けた時、以前参加した東日本大震災における災害派遣を思い出し、身のひきしまる思いとともに、被災された方々のためにできる限りのことをしたいと考えました。

日程等を調整したところ、仲間や友人の応援、職場及び妻の理解もあり災害派遣等招集に応ずることが出来ました。

今回の活動では即応予備自衛官が初めて重機の操作をすることとなりました。私は編成完結式後、宇都宮駐屯地で技能検定を受検して、特技を付与され、佐野市赤坂町内において小型ショベルドーザを操作して土砂除去を実施しました。

3つの予備自衛官制度

国家の緊急事態に当たっては、大きな防衛力が必要です。しかし、その防衛力を日頃から保持することは効率的ではありません。このため、普段は、必要最小限の防衛力に対応し、いざという時に急速に集める事ができる予備の防衛力が必要となります。多くの国でも、いざという時に急速に戦力を増強するシステムを取り入れています。

わが国においては、これに相当するものとして、即応予備自衛官、予備自衛官及び予備自衛官補の3制度を設けています。

	予備自衛官	即応予備自衛官	予備自衛官補
導入年度	昭和29年	平成9年度	平成13年度
有事の際の役割	第一線部隊が出動した時に、駐屯地の警備や後方支援等の任務に就きます。	第一線部隊等の一員として、現職自衛官とともに任務に就きます。	
招集区分	<ul style="list-style-type: none"> ●防衛招集 ●国民保護等招集 ●災害招集 ●訓練招集 	<ul style="list-style-type: none"> ●防衛招集 ●国民保護等招集 ●治安招集 ●災害等招集 ●訓練招集 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育訓練招集
平時における(教育)訓練日数	<ul style="list-style-type: none"> ・3日間+2日間/年 または5日間/年 <small>※方面総監が特に必要と認める場合、6日間以上の訓練に参加可能</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・30日(2日間~4日間の訓練を複数回)/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・予備自衛官補(一般)50日間/3年 ・予備自衛官補(技能)10日間/2年
員数	47,900人 陸自:46,000人 海自:1,100人 空自:800人	7,981人 (陸自のみ)	4,621人 陸自:4,600人 海自:21人
処遇等	<ul style="list-style-type: none"> ●予備自衛官手当 4,000円/月 ●訓練招集手当 8,100円/日 <small>※手当は課税対象になります。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●即応予備自衛官手当 16,000円/月 ●訓練招集手当 14,200円~10,400円/日 ●勤続報奨金 120,000円/1任期(3年) <small>※手当は課税対象になります。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●教育訓練招集手当 7,900円/日 <small>※手当は課税対象になります。</small>
雇用企業給付金		42,500円/月・人 (年額:510,000円) <small>※給付金は課税対象になります。</small>	
任用(採用)までの流れ	元自衛官 予備自衛官補 ↓選考 ↓教育訓練 予備自衛官	元自衛官 ★予備自衛官 ↓選考 ↓選考 即応予備自衛官	主として自衛官未経験者 ↓志願試験 予備自衛官補

★予備自衛官：元自衛官（勤務期間1年以上の者）及び予備自衛官補（一般）を修了し予備自衛官に任用された者

予備自衛官等制度の概要

陸上自衛隊の予備自衛官制度は昭和29年度に創設されました。

その後、平成9年度に即応予備自衛官制度が、平成13年度には予備自衛官補制度が発足しました。

ここでは、改めて予備自衛官制度の歴史と概要について紹介します。

予備自衛官等制度の歴史

● 昭和29年	予備自衛官制度(陸自)発足 	● 平成13年	予備自衛官補制度発足
● 昭和36年	幹部の採用開始(尉官)	● 平成16年	佐官(陸自)の採用開始
● 昭和45年	予備自衛官制度(海自)発足 	● 平成23年	初の災害招集(東日本大震災)
● 昭和49年	陸上幕僚長表彰制度の制定 	● 平成28年	2回目の災害招集(熊本地震)
● 昭和54年	予備自衛官訓練センター(朝霞)完成 	● 平成30年	3回目の災害招集(7月豪雨)
● 昭和59年	永年勤続者表彰制度の制定 	● 令和元年	5回目の災害招集(台風19号)
● 昭和61年	予備自衛官制度(空自)発足		
● 平成7年	女性予備自衛官採用開始		
● 平成9年	即応予備自衛官制度発足 		



永年勤続者を表彰する湯浅陸上幕僚長

令和元年度予備自衛官中央訓練が八月二十三日（金）から二十七日（火）までの間、市ヶ谷・朝霞・駒門駐屯地及び東富士演習場において令和元年度予備自衛官中央訓練を実施しました。予備自衛官の識能向上と訓練の魅力化を目的とする本訓練には、各方面隊から選ばれた成績優秀な予備自衛官六〇名が参加しました。

本訓練では、第一師団隷下の第三十二普通科連隊第二中隊（大宮）が訓練を担当し、二十三日に訓練開始式、二十四日・二十五日に富士総合火力演習研修及び戦闘訓練、二十六日に市ヶ谷地区訓練、二十七日に離隊式を実施しました。

二十六日には、市ヶ谷地区において陸上幕僚長が「普段は企業等で勤務し、予備自衛官として訓練に参加し苦勞しながら、国防に寄与している皆さんに心より敬意を表します。」と労いを込めて訓示し、引き続き永年勤続者に対し表彰を実施しました。また、その後の懇親会においては、陸上幕僚長以下訓練関係者に加え、内部部局 岡人事教育局長、在日米陸軍司令部予備役室ディレクター メツツェル中佐（当時）を迎え、大盛況のうちに

活発な意見交換がなされました。



陸上幕僚長と訓練参加者との記念撮影（防衛省講堂）

訓練実施状況



出頭の様子



富士総火演習



WAPC 下車戦闘訓練



訓練実施状況



市ヶ谷記念館研修



在日米陸軍司令部予備役室からの表彰



訓示する湯浅陸上幕僚長



訓練実施状況



夜間訓練



総合訓練



CH 搭乗



予備自衛官中央訓練に参加して



自衛隊島根地方協力本部
予備3等陸佐

清水 哲

私は薬剤師である。
平成19年7月に予備自衛官補（技能）で採用され、同年12月に予備自衛官に任用された。夏の終わりに「中央訓練」と呼ばれる行事があることは知っていた。

予備自衛官招集訓練大好き人間としては、是非参加してみたいと思っていたものの、その内容については全くの無知であった。きつと通常の招集訓練と大差ないのではないかとタカをくくっていた。

ところが待っていたのは「予備自衛官としての技能、資質を向上させ、真に戦える予備自衛官を育成する」ことを目的とした訓練だった。

炎天下、数時間の睡眠時間。普段使ったこともない銃照準器や暗視ゴーグル、ヘリ搭乗。市街地戦闘訓練では、装甲車から飛び出し89式小銃

を撃ちながら、しかも4秒以内の弾倉交換必須で突撃、格闘。医療職の予備自衛官としては正に想像もつかぬ訓練の連続であった。

そんな地獄のような訓練体験をした今、もう一度参加したいかと問われれば、躊躇なく「ハイ」と答えてしまい、そんな自分を育ててくれた中央訓練、指導教官に感謝。

令和元年度予備自衛官中央訓練に参加して



自衛隊埼玉地方協力本部
予備1等陸曹

岡田 和彦

即自定年後、毎年同一中隊の訓練に参加させてもらっている。それも今回は中央訓練である。意気揚々と参加したが自分の不注意で腰痛が再発し、その後は見学及び無理をしない様に参加するよう中隊長から指示がありました。

執銃格闘、WAPC乗降からの突撃、総火演の研修、暗視眼鏡に室内掃討、チヌーク搭乗等の貴重な訓練の数々から糧食準備に至るまで尽力頂いたのに、それに応える事が出来

ずに落ち込んだ。

しかし、その気分を払拭奮起する素晴らしい体験をした。全国から集まった60名の同朋、その志と能力の高さに頼もしさ、誇らしさを感じ時間を共有した事が嬉しかった。

また各地での自衛隊の印象や取り巻く環境も改めて知る事が出来た。中央訓練の最終日に陸幕長及び米予備役兵担当官との懇親会が開催された。優秀隊員表彰の際に陸幕長は「訓練お疲れ様」でも「受賞おめでとう」でもなく「有難う」と仰って賞状を渡されていた事に感動した。自分には何が出来て何をすべきか、改めて模索し今暫く老体に鞭打とうと決心した。

予備自衛官中央訓練に参加して



自衛隊帯広地方協力本部
予備3等陸尉

大森 優彦

「令和元年」という節目の年に、中央訓練に参加して人生の1ページに残るほど貴重な

経験をさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

訓練前は、定年から4年を経過した自分がやっていたいけるかの不安と、初めての経験への期待でゆれていました。実際に始まってみると「真に戦える予備自衛官の育成」を目標に熱意に満ちた訓練の連続で、あつという間でも有意義な5日間でした。特に市街地戦闘訓練は、現職の時も経験しなかったこともあり、陸教や新隊員教育を彷彿させるような感慨深いものとなりました。また、陸幕長訓示、制度教育等を通じて更に自己修煉すべきことを再認識し、まさに台風19号に伴う災害派遣に予備自衛官が活動したように何時でも招集に応じられる準備が大切と思いを新たにしています。

現在私は、帯広地本の援護センターで期間業務隊員として再就職のお手伝いをしております。後輩たちが満足して再就職し、予備自衛官等として更に活躍していけるためには：と自問自答の毎日です。本中央訓練を終えて、教官、助教や担当者の真摯な姿勢と、熱い熱意を受けて皆が全力で取り組む状況が出来る貴重な体験を今後に生かすとともに、後

輩たちに伝えていきたいと思っています。ありがとうございました。



令和元年度予備自衛官中央訓練参加



自衛隊鹿児島地方協力本部
予備2等陸尉

酒匂 一仁

8月23日から27日までの間、令和元年度予

備自衛官中央訓練に参加しました。中央訓練は全国各地から選抜された予備自衛官が一同に集い、自衛官出身者だけでなく一般・技能公募といった様々な経歴の方が参加しますが、いざという時に貢献したい気持ち、団結心の強さは同じと感じました。
初日から32普連の精強な指導教官の下、熱い訓練が展開され、2日目からは東富士の市街地戦闘訓練場で夜間、暗視ゴーグルを装着した訓練実施後、市街地戦闘訓練が実施されました。4人1組の編成で皆の意思疎通や適切な判断、機敏さが作戦の成功を左右します。演練を重ね、総合訓練では指揮官号令の下、気持ちを一つに敵が立てこもる建物に突撃し、教官から合格判定を頂いたときは全員で喜びを分かち合いました。

あつという間の5日間でしたが、本訓練を通じて、これからも自衛隊の一戦力として貢献していきたいと強く感じました。

鎮西訓練（戦没者の取扱い）に参加して



自衛隊沖縄地方協力本部
予備3等陸佐
渡辺 滋子

今回、11月6日～10日までの間、健軍駐屯地で実施された本訓練に初めて参加しました。本訓練の目的は「武力攻撃事態における方面特別勤務隊について演練し、戦没者の取扱いに関する業務要領の基礎を確立すること」でした。

前線から後送されたご遺体を受領し、遺品を回収、感染に注意しながらご遺体の洗浄等の処理を施したのち、制服を着せ頭髮やお顔を整え、納棺するまでの一連の流れを、四班に分かれて繰り返し演練しました。エンバーマーの方の講習もあり、ご遺体の取扱いについて、専門的な立場からのご意見を聞けて非常に有意義な演練でした。ま

た、医療関係の予備自衛官の参加も多く、それぞれの分野からの提案も積極的になされ、皆でスキルを高め、ご遺体がよりよい状態でご遺族にお返し出来るよう、真剣に取り組めたと考えます。機会があればまた参加したいと思えます。

YS77に参加して



自衛隊静岡地方協力本部
予備2等陸佐
白岩 幹正

私は、普段は静岡県沼津市で産業医として勤務し、予備自衛官補を経て平成29年1月予備自衛官に任命され4年目になります。

この度、朝霞駐屯地で実施された日米共同方面隊指揮所演習（YS77）に令和元年12月13日から15日までの間、予備自衛官衛生班として参加してまいりました。

期間中は、訓練中の隊員の健康管理を任せられ、巡回診療では現在活動中の産業医視線も活かせるかと改めて感じることができました。

防衛大臣感謝状贈呈式

自衛隊記念日中央行事の一環として、防衛基盤の育成や隊員募集などに貢献した部外功労者・団体に贈られる令和元年度「防衛大臣感謝状」の贈呈式が令和元年10月13日（日）、グランドヒル市ヶ谷で行われました。

防衛大臣感謝状を受賞して



新潟総合警備保障株式会社
代表取締役社長
廣田 幹人

この度は、多年に亘る即応予備自衛官雇用の功績に河野防衛大臣より感謝状を賜り、誠にありがとうございます。授賞式当日は都合により出席が叶わずこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

当社は、新潟県全域でセキュリティ事業を展開しています。お客様をはじめ地域社会に安全、安心をお届けし、五十一年目となりました。その間、任期満了された自衛官の雇用

防衛大臣感謝状を受賞して



井田興業株式会社
代表取締役
井田 裕子

この度、令和元年度の防衛大臣感謝状を賜りましたこと大変光栄に存じます。

弊社は福島県でビルメンテナンス業を展開しており、現在警備部門に八名の自衛隊退職者が在職し、施設警備員として業務に励む一

天幕内に区切られたブースでの訓練は長時間の高ストレス状態と推測され、労働衛生の視点では①作業環境管理②作業管理③健康管理④労働衛生教育が有効と考えます。長時間訓練での脳や身体疲労には、十分な睡眠で脳を休めることが心身の回復、メンタル疾患予防に重要です。

細やかではありますが、自衛隊の訓練、演習等に我々の視点が活かされていければと願っております。

最後に、このような機会を与えていただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。



方、予備自衛官招集訓練の際には互いに協力し合い業務に支障の無いよう努めております。

授賞式当日、台風第十九号の影響で新幹線が運休になり、河野太郎防衛大臣にお目にかかることがかなわず、翌日も参観予定の観艦式は中止となり、今回の一連の行事に参加できなかったことは大変残念でした。地元福島駐屯地の創立記念行事中止、災害派遣の混乱の中、私達の東京のために尽力して下さった援護担当官にこの場をお借りして感謝申し上げます。

最後になりましたが、この度の受賞に際し、ご準備等にお時間を割いて下さった防衛省の皆様にご心より感謝致しますとともに、今後のご健勝とご活躍をお祈りしております。

防衛大臣感謝状を受賞して



菱重特殊車両サービス株式会社
取締役社長
織田 隆夫

この度、予備自衛官等雇用の功績により防衛大臣感謝状を賜り誠に有難うございます。

社員一同国防に関する社会的責任の重みを

再認識しております。

弊社は九〇式戦車、一〇式戦車並びに一六式機動戦闘車などの補給整備（部隊へのサービス）を業とする国内唯一の戦闘車両民間整備拠点です。千歳市上長郡に事業所を設けており社員の八割が陸自出身者です。

ここ数年繰り返し発生している大規模自然災害対処、また我が国を取り巻く戦略三方面での安全保障環境緊張激化により、自衛隊がいかに重要な組織であるかが再認知されているのが今であると思います。その枠組下で予備自衛官等制度の実効性確保は国家としての要請であると受けとめており、イージスアショアなどの輸入装備品本格運用開始により予備自衛官等への期待は増大すると 拝察します。

弊社は今後民活での陸自への貢献も含め、より一層陸自に寄り添う事業体としての道を邁進したいと念じております。

防衛大臣感謝状を受賞して



有限会社川崎住建
代表取締役
川崎勝

この度、即応予備自衛官の雇用に対し、河野防衛大臣より感謝状を賜りまして、誠にありがとうございます。授賞式当日は業務の都合により出席が叶いませんでしたが、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

弊社は、岡山県真庭市において昭和55年に創業し、住宅の設計・施工・管理を営んでおります。平成16年から即応予備自衛官の採用を始め、現在2名在籍しておりますが、自衛隊で鍛えられた体力に加え、培われた規律ある行動や取り組む姿勢は素晴らしく、弊社の社員、取引先との現場関係者においても高い信頼を得ております。

また平成30年7月豪雨の災害派遣の招集にも協力させていただきましたが、あらためて従業員一同、社会貢献の重要性を認識しました。今後とも引き続き訓練参加を推進しつつ、招集に協力させていただきたいと考えております。

大臣感謝状



日本通運株式会社
福岡支店長
関根章好

この度、予備自衛官等雇用に対するご評価をいただき、防衛大臣感謝状を賜りましたこと誠にありがとうございます。台風19号による交通事情のため授賞式当日における出席は叶いませんでしたが、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

弊支店は九州地域における物資輸送事業全般を総括し、国や地域といった境界線を越えた人や企業を結ぶ物流のコンサルタントとして様々なトラブルを防ぎ、安全で高品質なサービスを提供する使命を有しております。この事は自衛隊の任務遂行とも通ずる面が多々あるかと思われ、今後も予備自衛官等の方の雇用を通じて関係性の維持向上につとめさせていただきます。

末筆となりましたが受賞に際し厚く御礼申し上げますとともに、自衛隊の皆様のご活躍を心より祈念申し上げます。

優秀隊員招待行事

令和元年度「優秀隊員招待行事」が、11月29日（金）、東京都港区の明治記念館で行われました。

この行事は、陸上幕僚長がそれぞれの職務において、優秀な成績を収めた准・曹、事務官等、即応予備自衛官及び予備自衛官を顕彰するものです。

支えられて



自衛隊秋田地方協力本部
予備1等陸曹
御所野文男

私は昭和五十四年八月、多賀城駐屯地の第一教育連隊に入隊し、その後、仙台駐屯地の第二特科群に勤務となり、陸士として6年間勤務し任期満了退職致しました。退職後、予備自衛官へ採用され、即応予備自衛官制度発足と同時に即応予備自衛官となり、上限年齢

退職後、再び予備自衛官を志願し、毎年訓練出頭を欠かすことなく、三十四年目を向かえております。先の東日本大震災では、三回災害等招集に応じ、被災地で活動しました。

さて、今年九月、秋田地本の担当者から「御所野一曹が陸上自衛隊の優秀隊員として選ばれました。」との連絡を受けた際は、「どうして私が。」と言う驚きと喜びが入り混じっていたのを覚えております。

受賞日当日、秋田から妻を伴って東京のホテルに移動し、受付後、新制服に袖とおし、煌びやかな明治記念館において陸上幕僚長から顕彰状を直接手渡された時は、喜びで胸が一杯になりました。翌日は皇居見学の後、自衛隊音楽まつりを鑑賞し、見るもの全てに感動いたしました。今回の行事に参加させて頂き、予備自衛官を続けて、本当によかったと改めて感じる事が出来ました。

最後に、この賞を頂くことが出来たのは自分一人の力ではなく、私を支えてくれた家族・地本・予備自衛官・即応予備自衛官の方々のおかげであり、心より感謝申し上げますとともに、上限任期満了まで予備自衛官を勤め上げる所存であります。

この度は、本当にありがとうございました。



集合写真

ありがとう。



第52普通科連隊第1普通科
中隊 即応予備1等陸曹

金木 巖

私は、令和元年度陸上幕僚長優秀隊員「即
応予備自衛官の部」に選出され、身に余る光
栄と感謝の気持ちで胸が一杯になりました。
平成13年に始まった即応予備自衛官の第1
期生としての19年間を振り返る良い機会とな
りました。

その中でも、平成30年に発生した北海道胆
振東部地震では災害招集を受け、任務として
始めて災害派遣部隊の一員として行動し、復
興支援活動に従事しました。

被災者に精一杯寄り添いながら、その任務
を完遂できたことは貴重な経験となりました。
た。

今後も即応予備自衛官制度、第52普通科連
隊の精強化に貢献するため「常即一体」となっ
て訓練に邁進したいと思います。

最後に、職場・自衛隊の同僚、上司の方々

に深く感謝申し上げます。
そして、今まで支えてくれた最愛の家族に
は「ありがとう」と伝えたいです。

令和元年度優秀隊員に選ばれて



西方混成団第19普通科連隊
第3中隊 即応予備1等陸曹
三角 貴博

令和元年度優秀隊員顕彰式において、陸上
幕僚長より顕彰状を授与されました。選考さ
されたと連絡を受けた時には、他にも優秀な
隊員がいるのに何故私かと思いましたが、こ
のような行事で私が顕彰されるのは、常備自
衛官の方々の御指導や即応予備自衛官の仲間
達、そして私を支えてくれた家族のお陰だと
思います。祝賀会では、姉から感謝の気持ち
と中隊長からの祝電を頂き、改めて即応予備
自衛官を続けてきたことを誇りに思いまし
た。

私の現役時代は、第19普通科連隊重迫撃
砲中隊で六年間勤務し、即応予備自衛官で

は同連隊第3中隊迫撃砲小隊で訓練に励ん
でおります。早いもので、即応予備自衛官
になり二十一年になりました。即応予備自
衛官が出るほどの災害など無いと採用当初
は思っていました。現在の地球環境や隣
国の行動を考えると、いつ何が起きるとも
限らないので、より一層訓練に励み優秀隊
員の名に恥じぬよう微力ですが頑張ってい
きたいと思います。

陸上自衛隊優秀隊員招待行事に 参加して

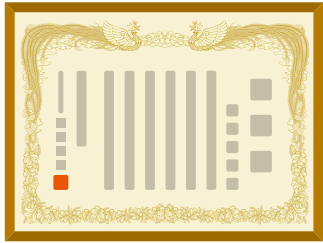


自衛隊大阪地方協力本部
予備陸曹長
延原 義成

平成最後の昨年、中央訓練に参加し山崎陸
上幕僚長から永年勤続表彰30年をいただき、
令和最初の年に優秀隊員顕彰状を湯浅陸上幕
僚長から授与され本当に栄誉なことと感激し
ております。

昭和53年9月に入隊し昭和61年6月除隊す
るまで小銃手小銃班長として勤務してまいり

ましたが、昭和62年からは予備自衛官として
一般社会人との二足の草鞋を履き、何時出動
を命じられても即戦力として活躍出来るよう
に体力気力を養ってきたその努力が認められ
た気がして大変嬉しく思います。
この間、家族友人そして仲間の支えがあつ
てこそと感謝しています。
この招待行事でお世話になった陸上幕僚監
部、地方協力本部の皆様には感謝いたします。
来年度最後の任期継続になり残り三年半で
すが、最後までこの表彰に恥じぬよう頑張る
所存です。
この度は本当にありがとうございました。



メモ

招集(教育)訓練の広場

予備自衛官招集訓練

状況判断能力を向上させる訓練



第14普通科連隊第2中隊
陸曹長
根本 一行

第14普通科連隊第2中隊は、金沢駐屯地において、令和元年11月29日(金)～12月3日(火)までの間、予備自衛官招集訓練を担当・実施しました。

本招集訓練では、状況判断能力を向上させる訓練を重視しました。

その訓練内容は一連の状況下で不意に様々な対応を演練するというものです。訓練間には、助言等は一切ありません。又、各人の職務に応じた編成にも留意しました。

予備自衛官招集訓練を担当して



第20普通科連隊
第3中隊迫撃砲小隊長
3等陸尉
吉田 正人

第20普通科連隊第3中隊は、令和元年11月22日(金)から26日(火)まで、神町駐屯地において令和元年度第三回予備自衛官招集訓練(二百五名)を担当・実施しました。

本訓練において着意した事項は、予備自衛官として任務を遂行するために必要な知識及び技能を修得させることを目的とし、その中でも、これまでの運用例に基づき最も蓋然性の高い、駐屯地警備での対処能力の向上を目標に、格闘による不審者の確保術を展示する等、実際の・実践的な教育を実施しました。

また、各課目においては、新しい装備である広域多目的無線機や個人携行救急品の止血帯(CAT)等の使用方法について教育するとともに、個人用暗視装置(V8)及び照準具(V1)の操作要領等について訓

付与した状況の一例を挙げますと、隊員の負傷や、有線の切断、予定外の民間者の訪問等です。訓練間は冷たい雨が降りしきる悪天候でしたが、全員が真剣に取り組んでおり、成果があったものと思います。

本訓練に参加した予備自衛官からは「このような部隊訓練は初めてであったが、いい経験ができた。」「とっさに正しい判断をすることの難しさを痛感しました。」といった意見があり、今後も任務に直結した職務に応じた訓練を、計画・実施していくことが必要であると強く感じました。



練し能力の向上を図りました。

本訓練に参加した予備自衛官からは、「現役の頃に触れることのなかった新しい装備品にも触れ、自身を持って使用できるようになった。」「現実的な訓練だった。」等の意見を頂きました。

本訓練を担当して招集訓練の重要性を再認識するとともに、様々な技能や経験を持つ予備自衛官の方々と交流し、我々常備自衛官も更なる精進が必要であると感じました。



即応予備自衛官招集訓練

一般公募予備自衛官(即自) 志願者教育



第31普通科連隊
第2中隊長 1等陸尉
小川 育

「はじめに」

第31普通科連隊(武山)は、神奈川県横須賀市に所在する即応予備自衛官(以降「即自」)指定部隊で、武山・朝霞・勝田・習志野・板妻・北富士の6個駐屯地を出頭先としています。

我が第2中隊は、東京都を中心とした即自隊員を朝霞駐屯地で招集する出頭訓練を担当しており、令和元年十月からは一般公募予備自衛官(即自)志願者教育(以降「公募教育」)も担当することになりました。

「魅力ある教育の工夫(即応予備自衛官の活用)」

第2中隊では、公募教育を担当する中で、



工夫している事項があります。その工夫とは、即自を公募教育の現場に進出させて、「助教（教育補助者）」として目標や任務・役割等を付与し、常備・即自・公募が一体となつて、「常・即・公の一丸」教育を実施するという事です。

特に軽火器特技の保有者には、訓練間での助教と対番指定（即自と公募のペア）を実施し、責任を持って公募に接し、機を失わない適時・適切な指導を追求させていきます。その効果は大きく、短時間で高練度（到達目標以上）の技能修得と、公募の感じる不安要素を瞬時に解決できる環境、安全管理（怪我防止、物品の紛失・破損防止等）にも効果を発揮しています。

課外には、自学研鑽時間を活用した武器の分解・結合、整備要領、翌日の訓練予行・訓練準備等を実施しますが、即自を補助者として立ち合せ、昼夜共に支援させていきます。朝終礼や営内生活等、訓練現場を離れた服務面でも、即自と共同して行動します。目標とする即自と常に行動する事により、任用後の生活環境に対応できる隊員形成と部隊の団結育成に努めています。

「おわりに」

公募から即自への任用制度が始まり、多くの予備自衛官（以降「予備自」）が期待と不安を胸に一歩を踏み出しました。

公募からは「即自と共に訓練し、不安が解消された」「常備・即自・公募の一体感があり相談しやすい」「即自を志して良かった」等多くの声が届きます。

即自からは「教育を通じ即自を知ってもらえる事は大切」「後輩となる公募を大切にしたい」「共に国防を担える様に切磋琢磨したい」等、即自助教効果は相乗効果として部隊の士気を高めています。

即自を志す公募予備自及び予備自補の方は、安心してその一歩を踏み出して下さい。共に国防を担える存在として、皆さんを歓迎します。

中隊長として、今後も「常・即・公が一丸」となって、共に教育訓練に進進する所存です。

常即一体での目標奪取



第52普通連隊本部管理中隊
衛生小隊長 2等陸尉
宮本 真一

第52普通科連隊は、令和元年11月9日（土）～12日（火）までの間、即応予備自衛官招集訓練を実施しました。本訓練は4日間訓練で実施され、内1日は、即自を含めた初めての武装走競技会が行われました。

「中隊一丸となって日頃の練成の成果を発揮せよ」との連隊長要望事項のもと各中隊対抗で個人走及び断郊走で競技が行われ、我が本部管理中隊は見事優勝することができました。

普段教える立場の多い常備自衛官が即自の隊員と同じ目標に向かい共に汗を流しその結果が最高のものとなったことは中隊にとって大きな喜びとなり、又、私にとっても大変貴重な経験となりました。

即自隊員からは、勝利への執着心や勝つことの喜びなど普段の仕事では味わえない充

実感を得たという話も聞きました。本部管理中隊は、この経験をひと時とせず今後より一層の団結を強化し常即一体となり、様々な任務を達成できるようにさらに訓練を重ねていく所存であります。

即応予備自衛官招集訓練



西部方面後方支援隊
第一〇五補給大隊第1中隊
3等陸曹
福田 明子

第一〇五補給大隊は、平成30年度新編されたコア部隊で、第1中隊は、方面直轄部隊師団等に対する糧食・需品・燃料・水の補給及び方面直轄部隊等に対する需品サービスを任務としています。

配属された即自隊員に対しては、需品の特技交換教育を3ヶ年かけて行う計画であり、年齢・特技も異なる即自隊員に、専門性が高く馴染みのない需品器材や需品科部隊の行動など、修得させる事の難しさを改めて実感しています。

令和元年8月に発生した佐賀県の大雨に伴う災害において大隊が派遣（生活支援隊入浴支援）され、この活動の場が最も即自隊員に部隊を理解できる機会と捉え、支援施設研修を行い「被災者の復興の一助となる活動に参加できる部隊」と改めて認識してもらいました。

即自隊員からは「災害派遣に参加したい」と言う声が多数ありました。

今後は、車両・荷役器材の操縦練成など魅力ある課目を取り入れ常備、即自一体となつて任務に進進できる部隊を育成していきたいと思えます。



予備自衛官補招集教育訓練

予備自衛官補招集訓練を 担当して



第一九教育大隊
第三四〇共通教育中隊
3等陸曹

新岡 萌

私は、第一一九教育大隊に異属するまでは、予備自衛官補という制度を知りませんでした。約五日間の短い期間の中で、一般の方を教育することはとても難しく、中々上手くいかないと感じることが多々あります。

一番難しいと感じることは、集団生活に慣れ、訓練を受けてもらうことです。衣食住を共にし、どこに行くにしても二名以上で行動しなければならぬという、私達自衛官からすると普通のことですが、一般の方からすると戸惑いを感じることでした。有事の際に掌握しやすく、団結心も深まると説明すると、納得して訓練に励んでくれました。

「郷に入れば郷に従え」という言葉はあり

ますが、自衛隊の指導法を押し付けるのではなく、お互いが生活や仕事の違いを理解し、認識を深めることでより良い教育訓練が出来るのではないかと私は思っています。



先輩の一般公募予備自衛官からの 体験談を活かして



自衛隊石川地方協力本部
防衛事務官

伊藤 高人

石川地本では、令和元年7月1日、金沢市合同庁舎にて、予備自衛官補辞令書交付式を行い、技能2名、一般5名の計7名（うち1名が女性）の予備自衛官補が参加した。

今回の交付式では、平成26年に採用された白井果奈陸士長に体験談を語っていただいた。白井陸士長は、昨年度の予備自衛官中央訓練に参加したほか、今年度からの制度改正を受け、現在即応予備自衛官としての任用を目指し、特技取得訓練を開始している。本業は、日本舞踊の総師範であり、地本の主催する新入隊員激励会や音楽演奏会等のイベントで演舞を披露するなど、広報活動への協力にも積極的であり、一般公募の女性予備自衛官として、今後先駆者的な活躍が期待される。

白井士長は話の中で、教育部隊の班長から



の厳しくも温かい指導や、同期の支えや絆について語った。新人予備自衛官補たちも、頼もしい先輩の存在に大いに刺激を受け、予備自衛官補としての自覚を新たにし、訓練意欲をかきたてられた様子であった。

メモ

地方協力本部担当者から

即応予備自衛官出身として



自衛隊札幌地方協力本部
即応予備自衛官係
2等陸曹
本田 ゆかり

私は、即応予備自衛官として12年間4任期の任期を終え、この度任期付自衛官制度により、札幌地方協力本部予備自衛官課で、即応予備自衛官係として勤務することになりました。

私が、即応予備自衛官としての12年間で強く印象に残っているのは、昨年発生した北海道胆振東部地震における災害派遣招集です。私の所属部隊では、給水活動や各自の持っている技能を生かした活動が任務と

なりました。招集に応じた隊員の中には、自分自身も被災しているなか、即応予備自衛官として被災者の方々に何かできないか、という思いで出頭している方もおり、その姿を見て意識の高さに驚きました。そして、被災者の方々から「助かった。ありがとう」という言葉をかけて頂いた時、本当に被災者の方々の役に立てているのかという不安は払拭されました。

これらの経験を活かし、これからはより多くの企業様へ即応予備自衛官制度をご理解、ご協力いただくため、また、雇用企業の皆様と即応予備自衛官の方々より良い出頭・訓練環境を作れるよう業務に取り組んでいきたいと思えます。

即応予備自衛官並びに 雇用企業との架け橋として



自衛隊岩手地方協力本部
防衛事務官
佐藤 瑞希

私は、平成三十一年四月から即応予備自衛

官業務を担当しております。現在の職務に就くまでは、即応予備自衛官制度についての知識は全くありませんでした。

即応予備自衛官の方々とは接する中で驚かされたのが、各人の使命感です。

近年日本各地で災害が頻発しており、災害派遣の重要性が高まっている中、令和元年十月台風第十九号のもたらした災害では、岩手地方協力本部から八名の即応予備自衛官が招集に応じました。これは、日頃の訓練の成果と使命感の表れだと思います。

しかし、即応予備自衛官の方々の多くは、普段は民間企業等に勤務しており、即応予備自衛官と仕事との両立は、雇用企業の理解なくしては困難なものです。地本担当者として、即応予備自衛官と雇用企業の架け橋となるべく、今後も制度普及に努めてまいります。



予備自衛官業務に携わって



自衛隊長崎地方協力本部
防衛事務官
池田 友彦

私は、初めての地本勤務で予備自衛官の管理等の業務を行っていますが、予備自衛官を一人採用するのがこんなに難しいものだとは思ってもみませんでした。さらに定年が延長されることもあり、どうにかして人員を確保できないかと、予備自衛官等の横のつながりを活用した新たな施策「予備自衛官等自主募集」を長崎地本で始めました。

その施策を周知し始めた頃、ある予備自衛官が、元自衛官であるご自分の奥様を予備自衛官に勧誘してくれました。とても仲の良いご夫婦で、招集訓練も同時期に参加していただきました。さすがに初日の受付時は緊張されましたが、久しぶりの迷彩服に身を包み、真剣に招集訓練に励む姿は退職後のブランクを感じさせないもので

した。

ご自身の知識や経験をぜひ予備自衛官として生かしていませんか？皆さんの志願をお待ちしています！また、皆さんの周りに予備自衛官等に興味がある元自衛官はいませんか？いらっしゃいましたら担当地本へ情報提供をお願いします。

常備自衛官の仲間から

予備自衛官に学ぶこと



第36普通科連隊
第4中隊長 3等陸佐
三上 龍二

私は、中隊長として予備自衛官招集訓練を担当する際、参加者に『なぜ予備自衛官に志願したのですか。』という質問をします。様々な回答がある中で印象に残った話を紹介します。

その方は、薬剤師の資格を有する女性で約6年前に予備自衛官補に志願され、現在は予備自衛官として招集訓練に参加しています。質問に対し彼女は、「自分の資格を活かせる医療現場で隊員の治療にあたり、そこで持てる力を発揮し国や自衛隊に貢献したい」と回答しました。既婚者で子供もいながら志願し、訓練に一所懸命臨む姿勢や国に貢献したいという強い思いは、現職隊員顔負けであり見習うべきことです。

このように我々が予備自衛官から学ぶことも多く、招集訓練の度に襟を正しています。訓練参加者や制度に理解いただいている企業に対して改めて感謝するとともに、充実した訓練を実施できるよう、引き続き我々も前向きに業務に取り組んでいきたいと思えます。



ワンチーム



北部方面後方支援隊
第一〇一高射直接支援大隊
最先任上級曹長 准陸尉
長尾 正直

私は、平成29年11月から第一〇一高射直接支援大隊最先任上級曹長として勤務しており、はや2年が経過しました。この間、大隊では今年度を含め17名の退職自衛官が予備自衛官に志願しており、大変心強く感じています。また、招集訓練に参加している諸先輩方が時々部隊を訪れていただき、色々な話をさせてもらい元気に頑張っている姿を見てみると「自分達も負けてはいられない、後に続けられるよう頑張らなくては。」と思う次第であります。

定年退職、任期満了退職を問わず、それぞれの期間自衛隊で勤務し、更に予備自衛官として国防の任に当たる意思の強さに対して頭の下がる思いであります。これこそ部隊（自衛隊）に対する帰属意識であり、『ワンチーム』として勤務してきたことの現われだ

と思います。
退職隊員が「退職後も自衛隊に関わって行こう」と思える様に、これからも部隊（自衛隊）と言う『ワンチーム』で団結し、任務を遂行して行くことが大切だと思います。

予備自衛官の仲間から

即応予備自衛官を目指して



自衛隊函館地方協力本部
予備陸士長
菅原 雄司

私は、平成25年に予備自衛官補として採用されました。親戚に自衛官が多く以前から自衛隊という組織を身近に感じていたこともあり、インターネットで予備自衛官補の制度を知るとすぐに受験しました。

教育訓練参加当初は不安でしたが、班長等が丁寧に温かく接してくれて、また同期にも

支えられ、50日間の教育訓練を無事終え予備自衛官になることができました。

地本の即応予備自衛官担当者から公募予備自衛官から即応予備自衛官へ志願できる制度が始まったと聞き、自分自身の成長に繋がるものと思い、挑戦を決意しました。職場にも自分の決意を伝えると、快く了承してくれました。これから教育訓練が始まりますが、仕事と訓練を両立し、人の役に立てる即応予備自衛官を目指していきたいと思っています。

予備自衛官になって



自衛隊茨木地方協力本部
予備陸士長
上林 玲子

私が平成24年に予備自衛官補、その後、予備自衛官となって早5年の月日が流れました。私の周りに自衛隊に勤務している人はおらず、自衛隊という組織についてもニュースに取り上げられる程度でしか知りませんでした。予備自衛官訓練では、座学

即応予備自衛官の仲間から

家族の協力を得て



東北方面後方支援隊
第一〇二補給大隊第1補給中隊
即応予備3等陸曹
猪狩 愛子

私は、約九年のブランクを経て、今年の九月から第一〇二補給大隊の需品サービス班所属となりました。

災害直後は、夫が自衛官（東北方面衛生隊）のため登庁したので、私は子供の世話等があるのですが、当初は即応予備自衛官の災害等招集に応じることはできませんでした。入浴支援等の活動が長期化していることを知り、静岡県から母に二週間程支援に来てもらって、第三派の招集に応じることができました。

入浴支援活動中は、シャワーが多く、浴槽が深いのでゆっくり温まると利用者からコメントを頂きました。設営、水の供給、

清掃に少々手間がかかりますが、利用者が喜んで何度も入浴に来てくれることを思うと、日々の準備にも力が入り、また、設備にも愛着がわきます。

即応予備自衛官となって二ヶ月、余り訓練には参加できていませんが、短い期間でしたが家族の協力を得て、所属部隊の業務のために即応予備自衛官として役割を果たすことができたと思います。

即応予備自衛官になって



中部方面後方支援隊
第一〇一補給大隊第2中隊
即応予備2等陸尉
鬼頭 直樹

私はタクシー会社に運転手として勤めておりますが、上司や同僚の方からも有事の際には私が即応予備自衛官として出勤する事を期待されています。相次ぐ風水害が報道される度に「君は行かなくていいのか」と確認を受けるほどです。また元自衛官としての適応力が評価されて長時間長距離運



というものがあ、その中で常備自衛官が有事の際に最前線で活動すること、私たちが予備自衛官はそれを支える補助的な活動をすることを学びました。訓練を重ねていくうちに、今まで関心の薄かった国際情勢や日本の安全保障についても自然と目が行き理解が深まってきました。予備自衛官となつてあらためて思うことは、自衛隊は自分の周辺、更に広げて言えば、日本に何かあった場合、何かしら役に立ちたいと思う人々が集う組織であり、その一端ではあります。後方支援等で私も力を発揮できることに誇りを感じています。

転する時間不規則な特殊業務を任せられる事もあります。

タクシートの仕事は柔軟に勤務調整ができるので御協力を頂いて数日間にわたる訓練にも出頭させて頂いております。一方タクシートの仕事は運動不足になりがちで私も一時期メタボ体型になってしまいました。これではいけないと今は即応予備自衛官としての自覚を強く持って、日頃のジョギングを欠かさず体力の維持向上に努めています。

これからも健康と体力の維持向上に努め、有事の際に任務を確実に遂行できるように訓練を重ねて行きたいと思っております。



予備自衛官補の仲間から

国防の一端を担うための皮切り



自衛隊長野地方協力本部
予備自衛官補
田中 俊匡

私は、祖父が従軍していたこともあり幼少期から国防に関心があり、予備自衛官補制度を知り早々に志願しました。訓練参加には、家族や会社の理解が不可欠ですが快く協力いただいております。教育訓練では、年齢職業の違う様々な隊員が苦楽を共にしながら同じ目標に向かって一丸となって励んでいます。民間では経験のできない生活や訓練を通して成長できており予備自衛官補になってよかったと思っております。予備自衛官補制度が更に多くの人に認知され仲間ができるのを切に祈っております。

予備自衛官補になって



自衛隊佐賀地方協力本部
予備自衛官補
能地 海都

私は、幼少期より自衛官に興味があり、大学生を送る中でも実際に訓練を受け、自衛隊についてより知ることができると、インターネットや広報官の方のお話を受け、志望しました。

訓練に出頭する際は、今までイベント等では中に入ることのなかった駐屯地に入るという緊張感に包まれながらも、現役自衛官の統制のとれた動作、規律の正しさを強く肌で感じることができました。

私は現在、大学で心理学を学んでおり、訓練を担当していただいた教官等のお話で、よりのこの自衛隊という組織について詳しく知ることができ、将来の自分の進路を定めるよい機会になりました。

さらに、訓練を受けてきた仲間との5日間という期間は、とても良い経験になりました。

この予備自衛官補制度は、外からの自衛隊ではなく、組織の一員として内側から見ることで、自衛隊についての方が、世界が変わるとてもいい機会だと感じました。

雇用企業の皆様から

頼もしい我が社（家）の 即応予備自衛官



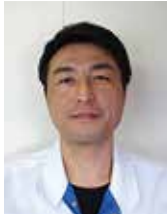
有限会社
フェニックスホーム 代表
渡邊 ハル子

弊社は、宮崎県宮崎市で平成3年3月創業以来、消毒業を営んでおり、害虫駆除・防除や施設等の消毒を請け負っています。

弊社と自衛隊との関係は、次男の自衛官採用に始まります。任期満了退職後、弊社の社員となりましたが、自衛隊で培った経験を活かして社会に貢献したいとの思いを持っており、即応予備自衛官に志願したいとの次男

の希望を受け入れることにしました。即応予備自衛官採用から今年で5年経ちました。当初から訓練招集と弊社の業務との両立ができるよう可能な限り勤務環境を整えています。従業員として、また即応予備自衛官として頑張っている次男を誇りに思います。ここ数年、大きな自然災害が毎年起こっていますが、今年の台風19号による豪雨災害では即応予備自衛官が災害の現場に派遣されると報道されていましたが、次男に招集がかかった場合には災害等への派遣に出頭させて、社会貢献できるように応援していきたいと思っております。

予備自衛官等を雇用して



有限会社 八晃肥料
代表取締役
道見 大介

弊社は北海道芽室町で創業20年の肥料製造業を営んでおります。創業者は私の叔父にあたり元自衛官であったこともあり、社員全

員が即応予備自衛官もしくはその経験のある者です。

業務内容は構内でのリフトの運転、電子機器の操作、そして力仕事など一辺倒ではないのですが、社員一同、即応予備自衛官としての訓練の中から学んだ迅速かつ安全な行動や社員同士でのチームワークを取った行動、更にはパートナーを指揮して仕事をこなす事もできる大変優秀な人材ばかりです。

即応予備自衛官の訓練招集においては業務になるべく支障をきたさないよう社員同士で話し合い、日程調整を行っています。弊社では出頭中は特別休暇として対応し出頭後の休暇も取れるよう勤務のシフトを調整しています。

弊社の社員は未だ災害派遣等に参加した事はありませんが、有事の際には華々しい活躍ができるよう普段から弊社業務の傍ら年間30日ではあります。現役自衛官と変わらぬ訓練に励んでいるところであります。

弊社は即応予備自衛官を雇用する企業として予備自衛官制度の普及促進、雇用拡大を応援していく次第です。微力ではありますが予備自衛官等制度を通して国家の安寧に貢献できればと思っております。

予備自衛官を雇用して



青銀ビジネスサービス
株式会社 代表取締役常務
中村博

弊社は、青森県内を地盤とする地方銀行である青森銀行の関連会社として、昭和六十三年四月に設立致しました。主要業務である銀行業務に付随する定型的事務処理・用度品等管理搬送業務や代金回収業務等を通し地域社会へ貢献したいと活動しております。

昨今のIT技術の進歩により銀行業務も大きく変化していますが、人と人が協力しあえなければ実現できないサービスもあり、高い能力と技術を持った退職自衛官の方々は、弊社にとって必要不可欠となっております。弊社は会社設立以来多数の退職された自衛官の皆様を採用させて頂いており、現在は六名の退職自衛官全員が予備自衛官として日頃から教育訓練に参加しております。その自覚と行動力には頭の下がる思いです。今後とも退職自衛官の方々が予備自衛官

として安心して活動できるよう、弊社として可能な限りの対応を行ない、自衛隊の皆様への活動に協力してまいります。

予備自衛官等を採用して



株式会社出光
プランテック愛知
代表取締役社長
松尾剛

弊社は、愛知県知多市にて、出光昭和シェルの子会社として、愛知製油所（原油精製等）内で、警備防災、燃料油陸上出荷、燃料油試験分析業務等を約120名の従業員で担っている、創業20年目の会社です。

弊社には、現在、即応予備自衛官2名、予備自衛官3名、元自衛官7名の社員が、各職場で、過去の経験や強みを活かし、明るく、元気に、活躍してくれています。彼らは、規律正しく、協調性もあり、新たな様々な業務にも、責任感と挑戦意欲をもって、果敢に取り組み、大きな存在感を

発揮しており、愛知地方協力本部様に感謝しているところです。

2018年10月に予備自衛官等の雇用に対し、防衛大臣様から感謝状と記念の盾を拝受し、名譽とともに、とても感激した次第です。

国内外を取り巻く環境は、著しく変化しているなか、弊社の予備自衛官等が、会社業務を遂行しながら、職場での国家及び地域社会への尊い貢献活動への理解を深め、招集訓練や、災害支援活動等に、心して協力していることに、会社としても、とても誇らしく思っています。



ご家族の皆様から

自えいたいのかくれん



第38普通科連隊
第2中隊
即応予備3等陸曹
水嶋翔
水嶋美羽
長女(小学三年生)

わたしのお父さんは、仕事をやりながらそくおう予び自えいかんのくくれんに行くことがあります。

小学校が休みの時、自えいたいに行くことが多いので、わたしと弟たちは、いっしょに遊びたくてもさみしいことが多いです。わたしはころろの中では「行ってほしくないな」と思います。

それでも、お父さんが自えいたいですがんばっているところをテレビで見たことがあります。こまっっている人たちのお手つだいをしているお父さんを見てわたしは、「自えいたいの人とはとてもたよりになる。」と思

父へのエール



自衛隊旭川地方協力本部
予備陸曹長
岩佐博志
三男 岩佐隼

私の父は、54歳で陸上自衛隊を定年退職した後、期間業務隊員として自衛隊旭川地方協力本部に勤務しています。

その父が定年退職した後も予備自衛官として自衛隊で訓練をすると聞いた時は驚き、訓練できる体力があるのか不安でいっぱいでした。しかし、私が高校野球を夏の大会で敗退し引退した後、父に朝野球に誘われ同じチームで試合に参加した時に予想しなかったその元気な好プレーを見て驚き、まだやれる姿に安心しました。また、私が幼稚園に

俺の親父は予備自衛官



自衛隊大分地方協力本部
予備3等陸尉
吉住研司
長男 吉住元氣

朝5時に起床し、朝食を取った後、ダンベルを持ち上げることが親父の1日の始まりです。2年前に自衛隊を定年退官してからの日課となっています。

現在、親父は大分地本の援護課で働いていて、また、予備自衛官でもあります。自衛隊

通っていた頃に国際平和維持活動として約半年間、海外に行きました。その時、私は母と一緒に空港で父を見送りし、不安な気持ちで帰国を待っていたことを今でも覚えております。そして、自分の心の中では偉大な父に憧れを持っていきます。

最後に父には、体に気を付けてこれからも元気に仕事と野球、そして予備自衛官として頑張っていけるよう、応援していきたいと思っています。

四役をこなす妻へ



自衛隊栃木地方協力本部
予備2等陸曹
三浦友理子
夫 元3等陸尉
三浦 忠幸

母、妻、本業の看護師、そして予備自衛官として日々、大変な四役をこなしています。

自らの国家資格を有効活用したいという思いから予備自補を受験し任命され、慣れない訓練に戸惑いながらも晴れて「予備2曹」に任官した際の笑顔は素晴らしく素敵でした。

初の5日間招集訓練前には、元自の私が各種訓練に関し助言をして妻に自信を付与させて背中を押して家族皆で送り出しました。

災害派遣等、今後は益々多種多様な任務があると思いますが、健康には十分留意し四役の任務を必遂して下さい。「頑張れママ！」



予備自衛官のわが息子



自衛隊香川地方協力本部
予備陸士長
安達 秀司
(母) 安達 町子

予備自衛官になって何年か色々な訓練に関わり、頑張っていると思います。

毎月二回、香川から広島へ訓練の為通っておりますが、担当して頂いている教官の皆様も同じ訓練を受けている仲間の皆様にも良くして頂いていると聞いております。

これまで、東日本大震災や西日本豪雨等に災害ボランティアとして参加しておりますが、何れ、即応予備自衛官として参加したいと考えているようです。

これからも仕事と訓練を両立しながら色々な経験を積む事と思いますが、身体に気をつけて皆様と助け合い頑張って貰いたいです。

知識の広場

「招集され自衛官となった場合の 防衛省共済組合への加入について」

陸上幕僚監部人事教育部
人事教育計画課予備自衛官室 3等陸佐

小西 健一郎

東日本大震災以降、自衛隊の災害派遣活動において予備自衛官、即応予備自衛官（以下「予備自衛官等」という。）の方々が招集され自衛官となって活躍される機会が増大しているところ、今回は招集され自衛官となった場合の防衛省共済組合への加入について紹介させて頂きたいと思えます。

防衛省共済組合は常備自衛官を始め、防衛省職員等を組合員として組織されており、その目的は、組合員やその家族の生活の安定と福祉の向上に寄与するとともに、職務の能率的運営に資するため、組合員の相互救済の事業を行うことであり、法律により各省

庁ごとに設けられているものです。共済組合の事業内容は大きく分けて、二つに分類されます。

一つは、社会保険（健康保険及び厚生年金保険等）の代行的役割を果たす「給付事業（法定事業ともいいます。）」で、もう一つは組合員の福祉の増進に資するため、各省庁等共済組合の特性に応じて任意に行うことができる「福祉事業」です。

特に、福祉事業については、保険、アウトソーシング等、自衛隊の特性に応じた各種サービスを提供し、隊員の福祉向上に寄与しています。

予備自衛官等の方々は、現状として生業の社会保険等に加入され、生業の福利厚生事業等のサービスを利用されているものと思いま

す。予備自衛官等の方々が招集され自衛官となった場合における共済組合への加入については、招集期間等の状況によりですが、仮に加入した際には、前述に述べた共済組合の各種サービスが利用可能となります。

一般的に短期間の招集であれば、煩雑な手続等もあり、予備自衛官等の方々及びそのご家族にとってのメリットが少ないことから、過去の災害等の招集においては、共済組合への加入は実施していません。

仮に長期間の招集が生じた場合、当時の状況により、共済組合に加入して頂く場合もあることから、今回は共済組合事業等について紹介させていただきました。

長期間の招集が生起しないことが望ましいのはもちろんですが、予備自衛官等の方々におかれましては、引き続き招集訓練等にご精励頂くとともに、「いざ」という状況においてはお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

【令和2年度予備自衛官等制度広報のご紹介】



令和2年度予備自衛官等募集ポスター及び予備自衛官等協力事業所表示制度ポスターが完成しました。

キャッチコピーは募集ポスターが「働きながら、守ります。」予備自衛官等として、雇用企業等や社会の理解を得て、国防の一翼を担い、有事においては自衛官になることをわかりやすく表現しました。

協力事業所表示制度ポスターが「守る人を、支えます。」普段の仕事を頑張りながらも、いざという時には自衛官として社会に貢献する姿を力強く表現しました。そして、予備自衛官等を雇用することが社会貢献に直結することを強く印象づけると共に、社会的な制度としての認識、理解をアピールします。

ポスターモデルの小池里奈さんと蟻川光平さんが主演した予備自衛官等制度広報ドラマ「J SDF RESERVE RINA ～予備自衛官になる～」が4月中旬よりYouTube陸上自衛隊広報チャンネルにて公開されます。

小池さん演じる藤崎りなは現在OLで幼い頃、被災した時の経験から自衛隊のように社会に貢献したいと考えていたところ、蟻川さん演じる整備士の高原僚太が即応予備自衛官であることを知り、予備自衛官等制度に興味を持ち予備自衛官補になるというストーリーです。

「予備自衛官」で検索していただき、是非ご覧下さい。



予備自衛官等福祉支援制度とは

- 1 この制度は、予備自衛官・即応予備自衛官または予備自衛官補本人、配偶者、子供及び父母が亡くなられたときに死亡弔慰金、本人の結婚や子供が誕生したときに祝金、そして傷病により入院（連続30日以上）したときに入院見舞金が支給されます。
- 2 この制度は、招集訓練時の不慮の事故（死亡・後遺障害・入院・通院）の場合は災害補償が適用されます。

- 3 3年以上加入し、脱退した場合には、加入期間に応じ「相互扶助 功労金」が給付されます。

加入資格について

予備自衛官・即応予備自衛官または予備自衛官補である者。ただし、加入した後、予備自衛官・即応予備自衛官または予備自衛官補を退職した後も、満64歳に達した日後の8月31日まで継続することができます。

会費について

- ・予備自衛官・予備自衛官補 毎月950円
- ・即応予備自衛官 毎月1000円

※3ヵ月分をまとめて3ヵ月毎に指定の口座より自動引き落としになります
注：予備自衛官等を退職した時、制度脱退の連絡がないと、会費は引き続き引き落としになりますので、注意下さい。

◎ご質問・資料請求は以下のいずれかをお願いします。

- ・各自衛隊地方協力本部
- ・公益社団法人 隊友会予備自衛官等福祉支援制度事務局
- 〒162-18801 東京都新宿区市谷本村町5の1
- TEL:03(5362)4872
- E-mail: fukushi@taiyukai.or.jp

■ 読者プレゼント（ご意見大募集）

今年で、51号となるパワーリザーブ(年1回発行)ですが、読者の皆さんからのご意見を募集し、さらにパワーアップした教養資料としたいと思います。

Eメールか郵便ハガキに次の4つの質問の回答と、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、ご意見ください。

質 問

1. 本誌の記事等で関心があった(面白かった)ところ
2. 今後、記事に追加して欲しいこと
3. 本誌の記事等で内容を変更して欲しい(不要な)ところ
4. 本誌に対するご意見、感想など、御書き添えください。

ご意見いただいた方にもれなく、下記予備自衛官制度広報グッズを1点、お送りします。ただし無くなり次第終了とさせていただきます。

※締切 2020年10月31日まで
皆様のご意見お待ちしております！



オリジナルフェイスタオル等

連絡先: 防衛省陸上幕僚監部人事教育部人事教育計画課予備自衛官室パワーリザーブ担当者

〒162-8802 東京都新宿区市谷本村町5-1

TEL: 03-3268-3111 (内線40647)

E-mail: ppl_rp_office_g@gso.mod.go.jp

誓 宣

【予備自衛官】

私は、予備自衛官たるの責務を自覚し、常に徳操を養い、心身を鍛え、訓練招集に応じては専心訓練に励み、防衛招集、国民保護等招集及び災害招集に応じては自衛官として責務の完遂に努めることを誓います。

【即応予備自衛官】

私は、即応予備自衛官たるの責務を自覚し、常に徳操を養い、心身を鍛え、訓練招集に応じては専心訓練に励み、防衛招集、国民保護等招集、治安招集及び災害等招集に応じては自衛官として責務の完遂に努めることを誓います。

【予備自衛官補】

私は、予備自衛官補たるの責務を自覚し、常に徳操を養い、心身を鍛え、教育訓練招集に応じては専心教育訓練に励むことを誓います。

予備自衛官の歌

光かざして

作詞 太田武考
作曲 山村英雄

一、のぼる朝陽よ さわやかに

平和みなぎる 明けの空

いま現われ 山河に

若い血潮は もえあがる

ああ われら 栄えある予備自衛官

二、はずむ心よ わが友の

職場持場は わかれても

手と手をつなぐ どこまでも

固い誓いを この胸に

ああ われら 栄えある予備自衛官

三、虹のかなたよ 晴れわたる

理想をかかげて たからかに

この日本を 守ろうと

使命は重く とこしえに

ああ われら 栄えある予備自衛官